

平成29年度防災アプリケーション公募 募集要項

国土地理院と水管理・国土保全局は、内閣府等と協力して、防災に関する地理空間情報（以下「防災地理空間情報」という。）の活用とオープンデータ化を推進するため、スマートフォン等で動作する防災に役立つアプリケーション（以下「防災アプリ」という。）の公募を行います。平成29年度は、国土地理院や国土交通省が提供している浸水想定区域データなど防災意識の向上や災害時における円滑かつ迅速な避難を確保するための様々な防災地理空間情報と国や地方自治体等の利用可能な防災地理空間情報を関連づけ、平時からの災害対策や防災学習など、防災意識の向上に資する防災アプリを募集します。応募にあたっては、以下の募集要項をご確認の上、手続き等をお願いします。

1. 本取組の目的について

国土交通省は多くの防災地理空間情報を保有しており、近年、これらデータのオープンデータ化に向けた検討を進めています。このような防災地理空間情報の更なる活用を進めるとともに、より「利用しやすい」データの提供方法を検討するため、これらの情報等を効果的に活用した防災アプリを公募・表彰いたします。

2. 応募要件について

平成29年度の防災アプリ公募の対象となる防災アプリ及び応募者は、以下の「① 防災アプリ要件等」、「② 応募資格」を満たしていることとします。

① 防災アプリ要件等

- 1) 応募する防災アプリはタブレット端末、スマートフォンのいずれかで動作するものとします。
- 2) 応募する防災アプリは、Webアプリ、Android アプリ、iOS アプリのいずれかとします。Webアプリについては、Chrome (Android版)又はSafari (iOS版)で、Androidアプリについては、Android 4.4以上が搭載されたタブレット端末又はスマートフォンの、iOSアプリについては、iOS8以上が搭載されたiPad又はiPhoneで、それぞれ動作するものとします。
- 3) 応募する防災アプリは、国土地理院や国土交通省が提供している防災に関する地理空間情報のうち、アプリ開発時点においてオープンデータとなっている情報を使用するとともに、背景地図として地理院地図データを表示することとし、開発者が創意工夫したアプリとします。具体的には、浸水想定区域データなど防災意識の向上や災害時における円滑かつ迅速な避難を確保するための様々な防災地理空間情報を効果的に利用した防災アプリを開発することとします。
- 4) 応募する防災アプリが有料又は無料であるかは問いません。ただし、本取組における審査や、主催者によるイベント等の実施の際には、応募する防災アプリを無料で利用できるものとします。

また、開発いただいた優良なアプリについては、広く国民にご利用いただくことが望ましいため、一般公開させていただく場合があります。

- 5) 応募する防災アプリで使用する言語は、初期設定の状態では日本語とします。
- 6) 悪意のあるアプリケーションや公序良俗に反するアプリケーションは対象外とします。

② 応募資格

- 1) 個人、グループ、法人を問わず応募できます。
- 2) 同一の応募者が、複数の防災アプリを応募することもできます。
- 3) 中学生以下の方が応募する場合は、保護者又は監督者（学校の先生等）の許可を得るものとします。
- 4) 暴力団等の反社会的勢力、又は資金提供その他を通じて反社会的勢力の維持、運営、経営に協力又は関与するなど、反社会的勢力との何らかの交流、関与を行っていると思われる場合は、応募できないものとします。

3. 応募方法について

応募様式（別紙1）に必要事項を記載し、応募受付〆切（平成29年6月1日）までに国土地理院防災アプリケーション事務局（以下「防災アプリ事務局」という。）に電子メール又は郵送により提出（「12. 問合せ先及び提出先」を参照）してください。

4. 防災アプリの提出について

応募者は、開発した防災アプリを提出〆切（平成29年8月4日）までに防災アプリ事務局（「12. 問合せ先及び提出先」を参照）に提出してください。防災アプリの提出に際しては、審査等を行う上で必要となる防災アプリの説明資料やインストール手順書等、関係資料もあわせて提出するものとします。

詳細については、防災アプリ事務局より、応募者に対して改めてご連絡いたします。

5. 使用する防災地理空間情報

本公募では、国土地理院や国土交通省が公開している浸水想定区域データなど防災に関する地理空間情報のうち、オープンデータとなっている情報をご活用いただくこと、並びに背景地図として国土地理院から提供する背景地図データをご利用いただくことを条件としております。なお国土地理院や国土交通省が提供している防災に関する地理空間情報（平成29年4月時点でオープンデータとなっているもの）については別紙2をご参照ください。

なお、本データ以外の情報等を応募者が独自に準備し、利用することも可能です。その際には、使用する情報等について、第三者が著作権を有しているものや、第三者が著作権以外の権利（例：写真につき肖像権・パブリシティ権等）を有している場合

もあるため、権利処理済であることが明らかな情報を除き、応募者の責任において、当該第三者から利用の許諾を得るものとします。

6. 審査委員会及び審査について

応募者より提出された防災アプリについては、防災アプリケーション審査委員会（以下、「審査委員会」という。）等において審査を行い、優れた機能を有する防災アプリを選定します。

審査委員会は、防災や ICT 分野の学識者、防災関係の政府機関職員及び地方公共団体の防災担当職員から構成されます。

審査は、以下の流れで実施する予定です。

- 1) 提出された防災アプリについて、動作や応募要件を満たしているかを確認する要件審査を、防災アプリ事務局において行います。
- 2) 要件審査を通過した防災アプリの中から、他と比べて秀でた機能を有する防災アプリの選定を行う第1次審査を実施します。第1次審査は、学識者の委員により行います。
- 3) 第1次審査において選定された防災アプリを対象に、審査委員会において最終的な審査を行い、表彰対象となる防災アプリを選出します。選出された防災アプリに対しては、審査委員長より表彰を行います。

要件審査及び第1次審査については、提出された防災アプリ及び同時に提出される資料をもとに審査を行います。審査委員会における最終的な審査では、応募者に審査会場（都内を予定）にご来場いただき、応募者による開発した防災アプリのプレゼンテーション等をお願いする予定であり、これも踏まえて審査を行う予定です。

審査は、防災地理空間情報の活用方法の独創性、操作性、表示の分かりやすさ等を総合的に判断して行います。

また、過去2年の取組において、一般ユーザーが防災アプリの機能に関する改善点として挙げた主な意見・要望（それぞれ下記ページを参照）に対応した場合は、その部分についても評価の対象といたします。

平成27年度：<http://www.gsi.go.jp/kikaku/bousai-app-2015needs.html>

平成28年度：<http://www.gsi.go.jp/kikaku/bousai-app-2016needs.html>

なお、審査委員会の構成員や審査方法の詳細については、防災アプリ事務局より、応募者に対して改めてご連絡いたします。

7. 防災アプリの普及促進

防災アプリの普及促進を図るため、審査において優れた機能を持つと評価された防災アプリについては、平成29年10月に開催を予定しているG空間EXPO2017において紹介（プレゼンテーション、デモンストレーション、パネル展示等）するとともに、一般ユーザーを対象とした試用調査（アンケート調査）を行う予定です。

なおG空間EXPO2017の詳細については、防災アプリ事務局より、応募者に対して改めてご連絡いたします。

8. スケジュールについて

以上の実施内容について、以下のスケジュールで実施する計画です。（予定）とする実施内容の日程が確定した際には、防災アプリ事務局より、応募者に対して改めてご連絡いたします。

年月日	内 容
平成29年 4月27日	防災アプリ応募受付開始
↓	(募集期間)
平成29年 6月 1日	応募受付〆切
↓	(開発期間)
平成29年 8月 4日	防災アプリ提出〆切
↓	(予備審査等の実施)
平成29年 9月 (予定)	防災アプリケーション審査委員会 ※優れた機能を有する防災アプリの選定、表彰
平成29年10月 (予定)	G空間EXPO2017 ※優秀アプリのデモンストレーション (予定)

9. 知的財産権等について

本取組における著作権等の知的財産権についての扱いは、以下によるものとします。

- 1) 応募する防災アプリの著作権等の知的財産権は、応募者に帰属するものとします。
- 2) 応募者は、応募する防災アプリが応募者の独創によるものであり、応募者がそのアプリの単独かつ独占的な所有者であり権利者であることを保証するものとします。ただし、応募者が独占的な所有者又は権利者でない場合には、応募者は、そのアプリに関して応募する権利及本募集要領に定める事項を許諾する権利を保有していることを保証するものとします。
- 3) 応募者は、著作権法等関係法令を遵守するとともに、応募する防災アプリの知的財産権を有しているものとします。万一、著作権等の知的財産権等に関わる問題が発生した場合は、応募者の責任及び費用負担で解決するものとします。また、主催者又は第三者が当該防災アプリを利用したことにより、ウィルス感染や情報漏洩などセキュリティ対策等の不備などで損害を被った場合は、応募者が損害賠償責任を負うものとします。

なお、本項に関しては、証明のための確認書を、防災アプリの提出に併せて防災アプリ事務局に提出するものとします。

- 4) 応募者は、国土地理院が、本取組の状況や本取組に応募した防災アプリの名

称、概要、画面例（動画を含む）、応募者名、写真等を、ウェブサイトや報告書等への掲載・公開等の様々な方法により、国内外で紹介することを許諾するものとします。

10. 個人情報等の取扱い

本取組において、応募者から提出された資料等に含まれる個人情報、技術情報等については、防災アプリ事務局において適切な方法にて管理し、本取組の目的にのみ利用するものとし、法令に基づく場合を除き、本人の了解なしに第三者には一切提供しないものとします。

11. その他応募者に求める事項について

- 1) 応募者は、本募集要項の内容を理解し、これを遵守するものとします。
- 2) 防災アプリの開発や各種資料の作成、審査委員会におけるプレゼンテーション、アプリのパネル展示及びデモンストレーションによる紹介(G空間 EXP02017に出展の場合)の実施等、本取組の実施のために応募者が必要となる経費等については、応募者自らが負担するものとします。
- 3) 国土地理院では、本取組の支援を外部委託する予定であり、応募者に対する本取組に関する連絡、依頼等について、委託業者を通して行うことがあることを、応募者はあらかじめ了承するものとします。

12. 問合せ先及び提出先

本募集要項に関するお問合せ、応募様式及び防災アプリの提出は、下記防災アプリ事務局までお願いします。

防災アプリ事務局

- ・ 電子メール: gsi-bousai-app@ml.mlit.go.jp
- ・ 郵送等 : 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番
国土交通省国土地理院 応用地理部 地理情報処理課
- ・ 電話番号 : 029-864-6269 (直通) 又は 029-864-6922 (直通)

(参考) 国土地理院防災アプリ専用ウェブサイト:

<http://www.gsi.go.jp/kikaku/bousai-app.html>

平成 29 年度防災アプリケーション公募 応募様式

応募者名 (企業・団体名又は個人名)	(ふりがな)	
防災アプリの名称 (※)		
アプリの概要 (※) (提供情報等をどのように活用 する防災アプリか簡潔に記述し てください。)		
アプリの動作環境 (※) (OS の種類やバージョン、ハー ドウェアの制約等)		
応募者連絡先	担当者名	(ふりがな)
	所属	
	電話番号	
	E-mail アドレス	

(※) 事務局の参考にさせていただくもので、審査に影響はありません。可能な範囲でご記入ください。

(事務局使用欄)

オープンデータとなっている防災に関する地理空間情報について

国土地理院や国土交通省が提供している防災に関する地理空間情報のうち、平成 29 年 4 月時点でオープンデータとなっているものは以下のとおりです。なおこれら以外の国の機関や地方公共団体等が提供しているオープンデータにつきましても、必要に応じてご活用いただき、創意工夫をこらしたアプリの開発をお願いいたします。

1. タイルデータ

地理院地図（<http://maps.gsi.go.jp/>）や地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ，<http://suiboumap.gsi.go.jp/>）で表示されている各種タイルデータをご活用いただけます。主なタイルデータには以下のものがあります。

	データ名称	データの概要	タイル拡張子
地理院地図（地理院タイル）			
(1)	写真	国土地理院から提供している背景画像用のオルソ化された空中写真画像	jpg
(2)	標高タイル	10m メッシュ標高データ等から整備した標高に関するデータ	txt
(3)	色別標高図	標高の変化を陰影と段彩の効果を用いて視覚的に表現したデータ	png
(4)	都市圏活断層図	地震時に大きな被害が予想される都市域とその周辺について、活断層の位置を詳細に表示したデータ	
(5)	治水地形分類図	河川流域のうち、扇状地、自然堤防などの詳細な地形分類及び河川工作物等を示したデータ	
(6)	各種中心線データ	道路や鉄道、河川の中心位置を示したベクトル形式のデータ	geojson
(7)	注記	地図に表示される居住地名や標高値などを示したベクトル形式のデータ	
(8)	基盤地図情報	基準点や道路縁など電子地図上の位置の基準となる地物を示したベクトル形式のデータ	
(9)	地形分類	地形を形態、成り立ち、性質などから分類したベクトル形式のデータ	
(10)	指定緊急避難場所	指定緊急避難場所の位置や対応する災害種別を示したベクトル形式のデータ	
地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）データ			
(11)	浸水シミュレーションデータ （洪水浸水想定区域図データ）	洪水により浸水した場合に想定される破堤点別の浸水領域や浸水深に関する時系列データ	png

また、アプリの背景地図として、次の地理院タイルデータもご自由に利用いただくことができますが、データをダウンロードして使用される際には、国土地理院の地図の利用手続（<http://www.gsi.go.jp/LAW/2930-index.html>）をしていただく必要がありますのでご注意ください。

	データ名称	データの概要	タイル拡張子
(1)	標準地図	標準的な地図データ	png
(2)	淡色地図	他の情報と重ね合わせをした場合にも見やすくなるように(1)を淡色化した地図データ	png

なお、国土地理院が提供しているタイルデータの詳細については、以下のページをご覧ください。

- ・地理院タイル一覧：<http://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>
- ・ベクトルタイル一覧：<https://github.com/gsi-cyberjapan/vector-tile-experiment>
- ・地理院タイルの仕様：<http://maps.gsi.go.jp/development/siyou.html>

2. API

地理院地図や地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）に実装されている各種 API につきましてもご利用いただけます。

	API 名称	API の概要
(1)	標高 API	経緯度等を指定することで、その地点の標高値を取得します
(2)	地点別浸水シミュレーション検索システム（浸水ナビ）API	緯度経度を指定することで、その地点に関連する洪水の想定破堤点の情報（名称、経緯度等）を取得する など 詳細については以下のページの別紙 2 を参照してください。 http://www.gsi.go.jp/common/000141950.pdf

（参考）データ利用上の注意事項

各種タイルデータ及び API を利用する際には、以下の点にご注意ください。

- 1) 地理院タイルを利用する際には、「国土地理院コンテンツ利用規約」が適用されます。詳細については「地理院タイルのご利用について」(<http://maps.gsi.go.jp/help/use.html>) をご確認ください。
- 2) 指定緊急避難場所データを利用する際には、「免責事項・ご利用上の注意 (<http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/hinanbasho-menseki.html>)」に基づき利用することとし、特に、データの更新にあわせて最新の情報を利用するようにしてください。
- 3) 浸水ナビに関するデータ及び API を使用する際には、国土交通省ホームページに記載のリンク・著作権・免責事項 (<http://www.mlit.go.jp/link.html>) が適用されます。
- 4) 浸水ナビに関するデータ及び API のうち、今回ご利用いただけるデータは、国の直轄管理河川のもののみとなります。詳細については、以下のページをご確認ください。
http://suiboumap.gsi.go.jp/pdf/Data-riyo_manual.pdf
- 5) 標高 API の利用方法及び利用上の注意は、以下のページをご確認ください。
<http://maps.gsi.go.jp/development/api.html>
- 6) 浸水ナビ API を提供するサーバに過度の負担を与えないでください。過度の負担を与えると判断したアクセスについて、国土地理院は予告なく遮断を行う場合があります。
- 7) 浸水ナビ API を用いて行う一切の行為について国土地理院は何ら責任を負うものではありません。

(以 上)